

令和5年度鹿屋体育大学大学院体育学研究科体育学専攻（修士課程）
〔第2次募集〕入学者選抜試験 論述試験問題

A. 共通問題

高いスポーツ・パフォーマンスを発揮するためには継続的なトレーニングの実施が求められる。しかし、オーバートレーニングに陥るとトレーニングの継続性がたたれる。そこで、このオーバートレーニングについて、その発生要因、症状や判断のポイント、対応について説明せよ。

B. 選択問題

問題番号1 狙った試合に対して、ベストのコンディションで臨めるようにピークを合わせていく行為をピーキングと言うが、このピーキングを行うための1つの手段として「テーパリング」と言うものがある。このテーパリングについて説明すると共に、テーパリングの種類を列挙し、それぞれについて説明せよ。

問題番号2 日本スポーツ仲裁機構（JSAA）の役割を述べたうえで、その業務内容であるスポーツ仲裁とスポーツ調停という制度について説明しなさい。

問題番号3 図のように、同じ質量の荷物を異なる姿勢で持ち上げることを力学的に考察する。まず、力のモーメントとは何かを説明せよ。ただし、角運動量との関係を含めること。次に、モーメントアームとは何かを説明し、力のモーメントの大きさを決める要因を説明せよ。そして、荷物と腕を1つの物体と仮定し、肩関節力（鉛直下向きであると仮定する）に着目して、AとBの姿勢ではどちらが腰に負荷がかかると考えられるかを力学的に説明せよ。

